

【社会科】

「選択教科としての『社会』における
指導と評価の一体化を図った指導の工夫」

岐阜市立陽南中学校 宮崎智和

Ⅰ 選択教科としての「社会」の指導にあたって

1 学習指導要領を踏まえた本事例の構え

学習指導要領『第3章指導計画の作成と内容の取り扱い 3 選択教科としての「社会」より

選択教科としての「社会」においては、生徒の特性などに応じ多様な学習活動が展開できるよう、
①第2の内容その他の内容で各学校が定めるものについて、②見学・調査、課題学習、自由研究的な学習、作業的、体験的な学習、補充的な学習、発展的な学習などの学習活動を各学校において適切に工夫して取り扱うものとする。

単元指導計画を作成するに当たっての配慮事項

- ・本単元は、①公民的分野の内容（2）アに関わる②発展的な学習である。②十分な見学・調査等の活動を位置付けた指導計画とした。
- ・個人の学びを大切にするため、単元の後半では、生徒の興味・関心を生かして②個人追究を位置付けた（自由研究的な学習）。また、この追究の成果を単元を貫く課題に対する②レポートに表現し、単元の出口とした（自由研究的な学習）。

選択教科社会科の指導計画を立てるに当たって配慮する事項は、①、②の点である。本事例についての配慮事項は以下の通りである。

①について

- ・指導内容を、「公民的分野の内容（2）ア」（私たちの生活と経済）とした。

②について

- ・発展的な学習として単元を構成した。
- ・見学・調査活動の時間を十分に確保した。
- ・個人追究を位置付け、レポート作成を出口とする自由研究的な学習を重視した。

2 Y 中学校における 3 年選択教科の枠組み

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語
コース数	A	2	2	2	2					2
	B					2	2	3	3	
	C	1	1	1	1	2	2	2	3	1

Aコース…国語～英語の5教科10コース（1教科2コース）とする。

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るコース（補充的な学習）と発展的な内容を扱うコースを教科ごとにそれぞれ開設する。

Bコース…音楽～技家の4教科10コースを開設する。生徒の興味・関心に応じるコースを用意する。

Cコース…国語～英語の5教科は、1コースとし、発展的な内容を扱うコースとする。

音楽～技家の4教科は、9コースとし、Bよりもより発展した内容を扱う。

本事例はCコースであり、発展的な内容を扱っている。

II 中学校第3学年 選択教科としての「社会」

単元名「企業の生き残り競争 ～M社の戦略を通して～」の実践例

1 単元について

対 象 学 年	中学校 第3学年
単 元 名	「企業の生き残り競争」～M社の戦略を通して～（公民的分野）
単 元 目 標	ア 不景気な経済状況の中で生き残るために、企業が行っている努力や工夫について関心をもち、意欲的に追究しようとする。 イ 企業の生産活動について調査する視点や方法を考えるとともに、企業が不景気な経済状況の中で生き残るためにどのような努力や工夫をしているかについて、多面的・多角的に考察することができる ウ 企業の生産活動や個人の消費活動に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、不景気の中での企業の努力・工夫について追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりすることができる。 エ 資本主義経済は、よりよい商品を求める消費者と利潤を求める生産者との両方で成り立ち、生産者は生き残りをかけ、他社と厳しい自由競争を展開していることを理解する。
授業の流れ	全13時間 第1次 ・不景気の中の企業 _____ 1時間 ・M社の戦略（取材計画） _____ 2時間 ・M社の戦略（見学・調査） _____ 2時間 ・M社の戦略 _____ 2時間 第2次 ・企業の戦略（見学・調査、レポート制作） — 6時間

◇ 第4、5時の調査や取材の様子

<取材内容>

- ① L社のCMはあまり見たことがないですが、なぜもっとCMを流さないのですか。
- ② 価格的にお得なメニューや期間限定などのメニューなど、様々な工夫を凝らしたメニューがあると思いますが、どんなものがあるか具体的に教えてください。
- ③ L社のポテトを食べさせていただきましたが、大変おいしかったです。そこで、他の企業とは違うこだわりがあれば教えてください。
- ④ この立地条件についてお伺いしますが、この立地条件は良いと思われますか。また、このあたりで立地条件が良い場所があれば教えてください。



2 単元の評価規準

	ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・ 判断	ウ 資料活用 of 技能 ・表現	エ 社会的事象につ いての知識・理解
ま と ま り ご と の 評 価 規 準	個人や 企業の経済活動 に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。	社会における企業の役割 と社会的責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、 個人や企業の経済活動の在り方 について様々な立場から公正に判断している。	個人と企業の経済活動 に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	経済活動の意義、 市場経済の基本的な考え方 、生産の仕組みのあらまし、金融の働きについて理解し、その知識を身に付けている。
本 単 元 の 評 価 規 準	不景気な経済状況の中で生き残るために、企業がやっている努力や工夫 について関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。	企業の生産活動について調査する視点や方法を考える とともに、 企業が不景気な経済状況の中で生き残るためにどのような努力や工夫 をしているかについて、多面的・多角的に考察している。	企業の生産活動や個人の消費活動 に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、 不景気の中で企業の努力・工夫 について追究し考察した過程や結果をまとめたり説明したりしている。	資本主義経済は、よりよい商品を求める消費者と利潤を求める生産者との両者で成り立ち 、生産者は生き残りをかけ、他社と 厳しい自由競争 を展開していることを理解している。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 評 価 規 準	〈ア－①〉 ○不景気な中でも売り上げを伸ばしている企業があることに疑問を持ち、企業の努力に関心をもっている。 〈ア－②〉 ○自分のテーマを決定するために、様々な方法で資料を収集しようとしている。 〈ア－③〉 ○自分のテーマを追究するために、意欲的に資料を収集したり調査しようとしている。	〈イ－①〉 ○売り上げを伸ばしている企業がどんな努力をしているのかを、価格、サービス、品質の視点から予想している。 〈イ－②〉 ○予想を検証するための適切な取材内容や方法を考察している。 〈イ－③〉 ○M社が売り上げを伸ばしている理由を、他社の戦略と比較しながら価格、サービスメニュー、宣伝の視点から考察している。 〈イ－④〉 ○自分のテーマに対して、調査結果から企業の戦略を、様々な視点から多角的・多面的に考察している。	〈ウ－①〉 ○計画したり時と場合に 応じたりした内容や方法で資料を収集している。 〈ウ－②〉 ○取材結果から得られたデータをわかりやすく図表化したりグラフ化したりしている。 〈ウ－③〉 ○自分のテーマに対して追究した過程や結果を、収集した資料や調査結果をわかりやすく図表化やグラフ化をし、効果的に活用して説明している。	〈エ－①〉 ○M社は低価格化やサービス、宣伝活動等の努力を行い、市場を独占していこうとしていることを理解している。 〈エ－②〉 ○企業は研究開発や販売戦略、市場の開拓など、生き残りをかけて他社と厳しい自由競争を展開していることを理解している。

3 指導と評価の計画（全15時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	現在の日本経済の様子を具体的な事実からとらえ、不況を乗り越える企業の努力に関心をもつことができる。	○現在の日本の経済状況について知っていることを話し合う。 ○収集した資料や提示した資料から、日本経済の不況について交流する。 ○資料を提示し、どの企業が売り上げを伸ばしているのかをつかみ、感想を交流する。 不景気な中、企業は売り上げを伸ばしていくためにどんな努力をしているのだろうか。 ○予想を立て交流する。 ○交流した予想をまとめる。	〈アー①〉 不景気な中でも売り上げを伸ばしている企業があることに疑問をもち、企業の努力に関心をもっている。 〈イー①〉 売り上げを伸ばしている企業がどんな努力をしているのかを、価格、サービス、品質の視点から予想している。	○発言内容 ○学習ノート（売り上げを伸ばしている企業について疑問や追究したい視点をもっているかどうかを分析する。） ○学習ノート（生活経験や既習内容をもとに、いくつかの視点から考えているかどうかを分析する。）	○不景気な状況を具体的にとらえるために、倒産数や売り上げの減少などの具体的な事実を新聞記事から例示するように指導する。その後、売り上げを伸ばしている企業を示す。 ○既習内容だけでなく知っている企業を想起するよう助言する。
2・3	M社の売り上げを伸ばしている理由を予想し、その検証のための調査方法を考え計画を立てることができる。	○資料から、どの企業について調査活動をすればよいかを考え交流する。 M社だけが売り上げを伸ばしているのはなぜだろう。 ○M社が売り上げを伸ばしている理由を予想し、交流する。 ○予想をもとに、取材内容を決定したりアンケートを作成したりする。 ○具体的な調査計画を作成する。	〈イー②〉 予想を検証するための適切な取材内容や方法を考察している。	○学習ノート（調査内容や調査方法が予想と対応したものかどうかを分析する。）	○第1時で予想したことを想起するように助言する。 ○予想したことを実証するためにはどんな結果があればいいかを考えるように助言し、取材内容や方法を考えるように指導する。
4・5	予想を検証するために、調査計画に従って様々な資料を収集することができる。	M社だけが売り上げを伸ばしているのはなぜだろう。 ○調査や取材を行う。	〈ウー①〉 計画したり時と場合に応じたりした内容や方法で資料を収集している。	○活動の様子（調査活動や取材活動を計画にしたがって行ったり、時と場合に応じて活動内容を工夫しているかどうかを分析する。）	○臨機応変に取材活動ができるように、何のためにやっているのかを再認識する。

6 ・ ⑦ 本時	M社が売り上げを伸ばしている理由を考察し、自分の考えをまとめることができる。	M社だけが売り上げを伸ばしているのはなぜだろう。 ○調査結果をまとめる。 ○調査結果を参考にして課題について考える。 ○自分の考えをまとめ交流する。 ○交流した結果をまとめる。	〈ウー②〉 取材結果から得られたデータをわかりやすく図表化したりグラフ化したりしている。 〈イー③〉 M社が売り上げを伸ばしている理由を、他社の戦略と比較しながら 価格、サービスメニュー、宣伝の視点から考察している。 〈エー①〉 M社は低価格化やサービス、宣伝活動等の努力を行い、市場を独占していることを理解している。	○学習ノート （得られたデータに応じて、わかりやすい資料の形態を選択しているかを分析する。） ○学習ノート ○発言内容（価格やサービスメニュー、宣伝の視点から他社の戦略と比較して考えているかどうかを分析する。） ○学習ノート （低価格化やサービス、販売戦略の視点から、M社が市場の拡大をねらっていることを理解しているかどうかを分析する。）	○調査結果をどのような資料として加工すればいいのかを、予想した内容と照らし合わせて考えるように指導する。 ○自分や仲間の考えがどの視点からのものか、また、L社と比較したものかを意識するように助言する。 ○他社との競争という視点を考慮して学習ノートに記入するように助言する。
8 ・ 9	売り上げを伸ばしようとしている企業の姿を追究するために、自分の学習計画を立てることができる。	不景気な中、企業は売り上げを伸ばしていくためにどんな努力をしているのだろうか。（自分の調べたい内容を決めよう。） ○既習内容や経験からや、新聞やインターネットなどを利用して得た幅広い情報をもとに、テーマ（追究内容）を考える。 ○自分のテーマ追究の構想を立てる。 ・ M社のさらなる追究 セット価格の秘密 ・ 巨大市場中国 ・ 頑張れ日本経済～新聞記事を通して～ ・ N自動車復活の軌跡 など 【一例】 ○学習してきたM社のセット価格と利潤の関係について追究しようと、調査計画を立てる。	〈アー②〉 自分のテーマを決定するために、様々な方法で資料を収集しようとしている。	○活動の様子 （低価格、サービス、宣伝、販売戦略など、様々な視点からの情報を、既習した方法やその他の方法を用いて得ようとしているかを分析する。）	○課題に則した内容であれば、生徒の関心に応じた助言をしていく。

10～15	自分のテーマに沿って資料を収集して考察したことを、わかりやすくレポートにまとめることができる。	不景気な中、企業は売り上げを伸ばしていくためにどんな努力をしているのだろうか。 ○調査した結果から自分のテーマについて考察する。 ○レポートを作成し、交流する。	〈イー④〉 自分のテーマについて、調査結果から企業の戦略を、様々な視点から多角的・多面的に考察している。 〈アー③〉 自分のテーマを追究するのために、意欲的に資料を収集したり調査しようとしている。 〈ウー③〉 自分のテーマに対して追究した過程や結果を、収集した資料や調査結果をわかりやすく図表化やグラフ化をし、効果的に活用して説明している。 〈エー②〉 企業は研究開発や販売戦略、市場の開拓など、生き残りをかけて他社と厳しい自由競争を展開していることを理解している。	○学習ノート （既習した視点や新たな視点を活用して考察しているか、分析する。） ○活動の様子 （自分の課題を追究するために、様々な視点や様々な方法で資料を収集しているか、分析する。） ○レポート （テーマ、収集した資料、結論がそれぞれ対応したものになっているかどうか、また、図表化、グラフ化した資料が結論を導き出すために効果的かどうかを分析する。） ○レポート （企業の努力を研究開発、販売戦略、市場の開拓など、様々な視点からまとめているかどうかを分析する。）	○生徒一人一人の課題に応じて、収集した資料を様々な視点から考えるように助言する。 ○生徒一人一人の興味・関心を生かすとともに、適切な課題や調査方法を引き出すように助言する。 ○まず、自分の考えをまとめるようにする。そして、それに対応する資料かどうか、また適切な資料の選択・加工なのかを考えるように助言する。 ○企業の努力を複数の視点からとらえている生徒を認める評価をする。また、一面的にとらえている生徒には、既習内容を想起して他の視点からも調査するように指導する。
-------	--	---	---	--	--

4 指導と評価の実際

1) 第7時の授業展開例

・本時のねらい

売り上げを伸ばしていこうとするM社の努力を、低価格化、サービスの向上、宣伝の視点から考察することを通して、M社は市場を独占していこうとする戦略を展開しようとしていることに気付くことができる。

・展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
つかむ	M社だけが売り上げを伸ばしているのはなぜだろう。		
追究する	①自分の考えを発表し、交流する。 〈低価格化〉 安い価格で提供することにより、消費者を獲得することができる。	〈イー③〉 ◎M社が売り上げを伸ばしている理由を、他社の戦略と比較しながら価格、サービスメニュー、宣伝の視点から考察している。	○自分や仲間の考えがどの視点からのものか、また、L社と比較したものかを意識してノートに記述したり、仲間の考えを取り入れて聴くように助言する。
	〈サービスメニュー〉 豊富なメニューを設定することにより、消費者のニーズに応えることができる。	○学習ノート ○発言内容 ・価格やサービスメニュー、宣伝の視点から他社の戦略と比較して考えているかどうかを分析する。	
	〈広告・宣伝活動〉 CMを多く流したり、キャラクターグッズを活用したりして、知名度を上げて消費者を獲得しようとしている。		○「価格」「サービス」「宣伝」の視点で、L社の様子と比較して考えるように助言する。
	②他社と比較してM社特有の戦略を考える。 L社とは、味はさほど違いはなかったがメニューの豊富さとCMが多く流れていることが違っていった。取材でも明らかになったように、自分の好きなものを選ぶことができたり、おいしそうだったからという理由は、このことが大きな原因なのだろう。		○すでにL社と比較して考えている生徒を認め、その考えを仲間に広める。
まとめる	③M社の前社長の言葉から、M社の戦略のねらいを考える。 他社にはまねのできない低価格化を実現すれば、売り上げが伸び、市場を独占できる。		○65円から45円に価格を下げようとしているねらいを考えるために、M社前社長「他社の悲鳴が聞こえる」という言葉を紹介する。また、M社とL社の販売量の違いを資料として提示する。
	④交流した結果をまとめる。 M社は大量販売をしていて低価格化を進めることができる。この点を最大限に生かしてさらに安くハンバーガーを販売することによって、他社の市場を奪い、市場を独占して、生き残ろうとしているのだ。	〈エー①〉 ◎M社は低価格化やサービス、宣伝活動等の努力を行い、市場を独占していこうとしていることを理解している。 〈知識・理解〉 ○学習ノート ・M社の様々な努力と市場の独占化とを結びつけて記述しているかどうかを分析する。	○M社が低価格化を実現できる理由とL社に与える影響を、資料から再度考えるように助言する。また、仲間の意見を取り入れるように助言し、「市場の独占」という視点に気付くようにする。

2) 第7時における指導と評価の実際

評価規準イー③：M社が売り上げを伸ばしている理由を、a 他社の戦略と比較しながら b 価格、サービスメニュー、宣伝の視点から考察している。

評価方法：○学習ノート ○発言内容

評価の観点：価格やサービスメニュー、宣伝の視点から他社の戦略と比較して考えているかどうかを分析する。

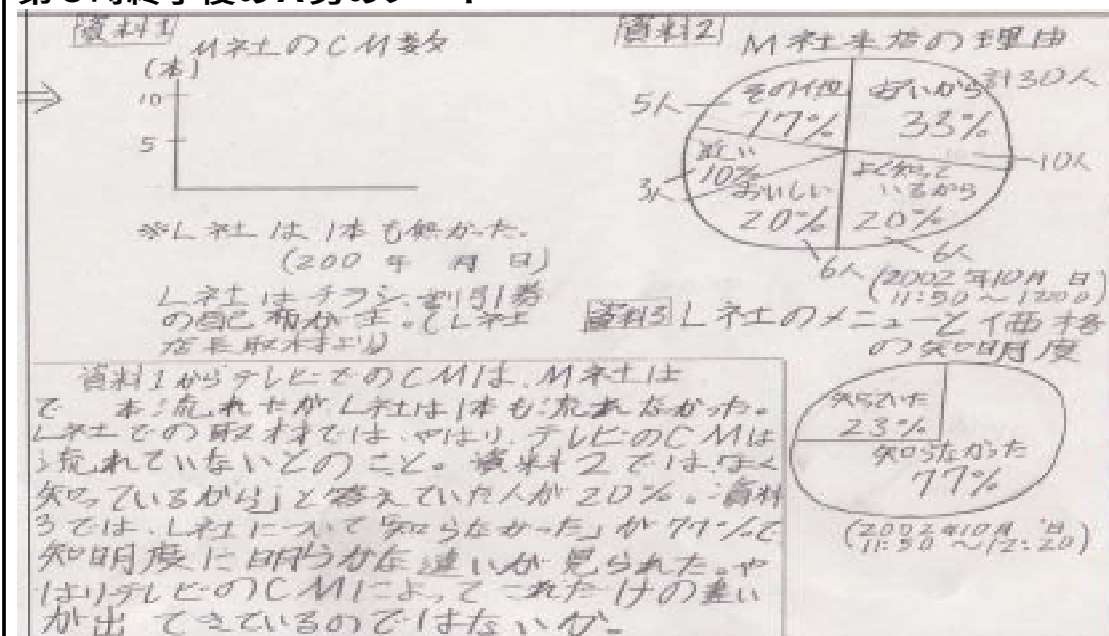
以下、A男の姿を通して述べる。

〈第6時までの指導とA男の学習活動（4，5ページ参照）〉

第6時までの主な指導・助言

- ・ 課題に対して予想したことを実証するためには、どんな結果があればいいかを考えるように助言し、取材内容や方法を考えるように指導した。
- ・ 調査結果をどのような資料として表現すればいいのかを、予想した内容と照らし合わせて考えるように指導した。

第6時終了後のA男のノート



第6時終了後、課題に対してA男が出した結論と

・TVCMによる情報網
↓
ゴールデンタイムの多くの番組の
スポンサーになり、テレビを見ている
とよくM社のCMを見かける。
又、アニメのスポンサーの「魔法の
少年」等の子供向けの商品が出ている
事から、L社と比べるとCM
は本数に近く、かなりの知明度
があります。

本時の学習活動①における発言内容

M社とL社は味や価格、サービスメニューではほとんど差がない。しかし、来客理由の多くが「宣伝で知っている」という調査結果からからもわかるように、M社は多くのCMを行っており、知名度を上げることによって消費者を獲得している。

〈第 7 時における指導と A 男の学習活動〉

A 男の学習状況の分析

評価の分析

b 味, 価格, サービスメニューの視点から考察し, a L 社と差がないと考察している。しかし, L 社との違いを宣伝と考え, 知名度の違いが売り上げを伸ばしている一番の原因であると考えている。

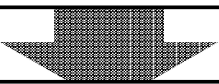
ノートの記述も発言内容も, 他社の戦略と比較していること(下線部 a), 価格, サービスメニュー, 宣伝の視点から考察していること(下線部 b)を主張することができている。この生徒は, 評価の分析で示したように, 評価基準の下線部 a と下線部 b を実現していると分析できる。したがって, 「おおむね満足できる」状況(B)を実現していると考えることができた。



学習状況 B から A を実現するための手だて(学習活動③)

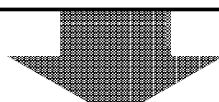
65円から45円に価格を下げようとしていることについて

- ・ M 社前社長の言葉「他社の悲鳴が聞こえる」という言葉を紹介した。
- ・ M 社と L 社の販売量の違いを資料として提示した。



学習活動③における A 男の発言内容

さらなる低価格を実現しようとしているのは, M 社は世界規模で大量仕入れができ原材料が安く入手できるからだ。また, 大量販売によって低価格を実現しやすい。低価格化を行うことによって市場を独占していこうと考えているのだ。また, 低価格化は M 社の強みであると同時に, 他社にはまねのできないことを行うことによって, 他社に圧力をかけていこうとしているのではないか。また, その結果, 独占した後, 価格を上げて利潤を上げようとしているのではないか。



A 男の学習状況の分析

評価の分析

さらに発展した視点として, 「世界規模の大量仕入れ, 大量販売による低価格化」を上げて考察し, 「市場の独占」や「他社への圧力」と, 企業同士の競争という視点に立ち, さらに, 独占価格という視点にまで言及できている。

この発言内容は, M 社の戦略について, 新たな視点である「大量販売」「市場の独占」「独占価格」という視点に関わって考察し, それが M 社の強みを生かして他社に圧力をかける戦略であるという, より発展した考えにまで至っている。したがって, 「十分満足できる」状況 A を実現できていると判断できる。

III 本実践を終えて

「選択教科としての『社会』における指導と評価の一体化を図る指導の工夫」を実践する機会を与えていただき、貴重な体験をすることができた。ややもすると、選択教科としての「社会」は、補充的な学習のみの指導になったり自由研究的な学習を重んじるあまり、評価規準に照らした指導と評価が曖昧になったりしがちではなかろうか。指導と評価の一体化はもちろんのこと、選択教科の在り方についても再確認する経験となったことは、非常に有意義なことであった。

選択教科としての「社会」を指導するに当たって大切にしたいことを以下に示して、今後の実践に生かしていきたい。

1 学校における選択教科の在り方の確立

①開設数と内容を吟味すること

本校では、選択教科を「基礎的・基本的な内容の定着」を図るコースと「発展的な内容」を扱うコースの、大きく2つに分けてコース設定を行っている。

②学校として評価規準を明確に設定し、それに照らした指導と評価を実践すること

「学習指導要領を踏まえた本事例の構え」に示したように、内容については各学校が定めることとなっている。したがって、それに関わる単元の目標及び評価規準を学校として明確にもつ必要がある。また、それにしたがって、指導と評価を行っていくことが、生徒に確かな力をつけていく基盤となる。

③選択教科の評価

評価規準を明確にした上で、必修教科と同様に的確な評価をしていく。先に示したように、毎時間の評価を的確に行って評価の累積を行うことで、評価を総括することができる。

2 選択教科における学習活動の工夫

生徒は企業の自由競争について、調査活動を活発に行うことができた。ただ単に調査活動を位置付けることに意味があるのではなく、単元の目標を実現するために評価規準を設定し、その手だてとして調査活動を位置付けたことが重要な点であると考え。具体的には、単元の目標を実現するために、「M社だけが売り上げを伸ばしているのはなぜだろう」という課題を設定したり、それに対して「低価格化」「宣伝効果」などの予想を立てたりすることが有効であったと考える。

このことを踏まえて、必修教科ではなかなか取り扱うことのできない学習活動を、選択教科では意図的に位置付けていくことが重要であると考え。

3 発展的・自由研究的な学習は基礎的・基本的な内容の定着があって成り立つこと

本単元は、第8時以降を自由研究的な学習として位置付けた。この活動を生徒は主体的に取り組むことができた。これは、第7時までの学習において、企業の自由競争についての基礎的・基本的な内容の定着を図ったからだと考えられる。具体的には、企業の生産活動について調査する視点や方法と企業の戦略を多面的・多角的に考察すること、また、それについての調査活動の仕方やまとめ方などを身に付けることができたからこそ、自分のテーマで、自分の追究方法で自由研究的な学習を進めることができたということである。

4 「目標と指導と評価の一体化」を図ること

学習指導要領の目標、内容に基づき、単元の目標、単元の評価規準、さらに、学習活動における具体的評価規準を設定して指導にあたった。このことによって、一人一人の生徒の学習状況をつかむこと（評価）ができ、個の学習状況に応じた指導が的確にできるようになった。これは、基礎的・基本的な内容の定着を図る上で欠かすことができないことであり、個の学習状況をさらに十分満足できる状況に高めるために有効な手だてを講じることに繋がった。